

第 223 号

<編集・発行>



八多ふれあいの
まちづくり協議会
TEL 078-982-0514

ふれまち八多



前神戸地域おこし隊 木村 崇志

2月14日(土)に開催した「学んでHATA楽茅茸café」は、1週前の大雪とは打って変わって春の陽気でイベント日和。目算250人ほどの方にご来場いただいたのでは。足を運んでくださった皆様ありがとうございます。

最初に振り返るのは、八多学園6年生の出店。1年間「八多町わくわくプロジェクト」で考え学んだことの実践の場として茅茸カフェで自分たちの答えを表現しました。マイクを握った子供たちの元気な呼び込みが会場内に響きわたっていました。「世界に魅力を発信課」の本格的なダリアクイズに頭をひねったかと思えば、「バス革命課」のストラックアウトではなんと実況付きの手に汗握る展開を楽しみ、「幼稚園ユートピア課」の旧八多幼稚園での宝探しゲームも大人もはまる本格ふりで探し回る。各ブースとも大盛況で、この日のためにしっかりと準備した成果がしっかりと表れていたんじゃないでしょうか。イベント後の子供たちの顔には疲れもありながら、それ以上にやり切った達成感や喜びの笑顔にあふれていたのが印象的でした。

続いて、萩原珈琲さんの八多超ブレンドづくりワークショップでは、地域の皆さんとともに「炭火焙煎カフェ用醬油蔵」で提供する八多町ブレンド(3種類)を練り上げました。まずは、昨年末のまち歩きイベント「八多超クエスト」の振り返った後、普段はめったにできないコーヒー飲み比べ(思った以上にそれぞれが違っていてビックリ!)でコーヒーマップ上の評価軸の雰囲気をつかんだら、上八多・中八多・下八多3地区の印象マップとコーヒーマップをすり合わせて、ブレンドの配合が決定!その場で参加者の方に配合されたブレンドを飲んでもらいました。3種類ともそれぞれに特徴があったいい風味となつているので、今回飲み逃した方は醬油蔵カフェがオープンした暁にはぜひご賞味あれ。

もちろん飲食の方も、八多ふれあいのまちづくり協議会、CAFÉ MON PÉTIT、萩原珈琲、村のキッチンカーをんな、Café 98℃と、八多町内はもちろん、果ては県北の新温泉町までいろんな方が様々な場所から来て、絶品グルメの数々を提供していただきました。どれも終盤にかけてほぼ完売売り切れで、大いに楽しんでいただけたのではないのでしょうか。

今回で5回目となった茅茸caféですが、今後は開催月を固定化して、地域のイベントとしてますます定着するべく進めていきますので、これからもごひいきに。

*八多ふれあいのまちづくり協議会のホームページもご覧ください。

「八多ふれあいセンター」が変わります ～地域福祉センターから地域交流センターに～

「八多ふれあいセンター」として町民の皆さんにご利用いただいていた「神戸市立八多地域福祉センター」が、令和8年4月1日から神戸市民による地域活動の推進に関する条例に基づき、地域活動の促進、地域社会の課題解決に寄与する施設として「神戸市立八多地域交流センター」(以下、「八多ふれあいセンター」という。)に改められることになりました。

八多ふれあいセンターの管理運営については、八多ふれあいのまちづくり協議会が神戸市から指定管理者の指定を受け、令和11年3月31日までの3年間管理運営業務を行います。利用時間、利用申込方法、利用料金などは関係条例、規則等により次のとおり変更になります。

これまで以上に多様な地域活動の場として活用され、町内の福祉増進、地域活性化がより一層促進されることを願うとともに、皆様のご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

1 利用時間

曜日	有人管理時間帯	無人管理時間帯
月～土	9時～16時	17時～21時
日		9時～21時

※休館日 祝日、12月29日～1月4日、8月13日～8月16日



2 利用申込方法

- ・受付期間 利用月の1か月前の1日から利用日の前日まで
- ・受付時間 9時から15時45分(日曜、休館日は除く。)
- ・受付場所 八多ふれあいセンター(来館又は電話)
- ・利用内容によっては、上記受付期間に先だてて受付可能な優先使用や利用料金免除の規定が適用される場合があります。詳しくは八多ふれあいセンターまでお問い合わせください。

3 利用料金

施設等	使用許可に係る期間の単位及び利用料金				
	午前 (9時から 12時まで)	午後 (13時から 16時まで)	午前・午後 (9時から 16時まで)	夜間 (17時から21時 のうち2時間ごと)	時間外使用 (時間単位)
地域活動コーナー	3,000円	3,000円	6,000円	3,000円	1,000円
調理室	1,000円	1,000円	2,000円	1,000円	400円
和室(大)	2,000円	2,000円	4,000円	2,000円	700円
和室(小)	2,000円	2,000円	4,000円	2,000円	700円
附属設備	<ul style="list-style-type: none"> ・モニター 1回につき 1,000円 ・マイク 1回につき 1,000円 ・スクリーン 1回につき 1,000円 ・ステージ 1回につき 5,000円 ・ワイヤレススピーカー 1回につき 1,000円 				
設備(備品)	<ul style="list-style-type: none"> ・コピー機 白黒 1枚(片面) 10円 / カラー 1枚(片面) 50円 ・電話 1回 10円 ・ファックス 1回 10円 				

八多町によろこ

今年度新しく八多町に来られた方々に着任のご挨拶をいただきました。

地域とともに歩む八多学園

神戸市立義務教育学校八多学園校長 **四方 貴之**



春の訪れとともに、新たな年度が始まりました。

このたび四月より、義務教育学校八多学園の校長として着任いたしました、四方貴之と申します。中学校教員、市教育委員会、小学校長を経て、豊かな自然に恵まれた八多の地で皆様とともに学校づくりができることを、大変光栄に感じております。

本校は義務教育学校として四年目を迎え、開校以来、地域の皆様の温かい支えのもと歩んでまいりました。行事はもとより日々の学習にも地域の方々が関わってくださり、子供たちが人と人とのつながりの中で学び、成長していることは、八多学園ならではの大きな魅力だと思っています。

二代目校長としての責任を胸に、子供たちが「明日も行きたい」と思える学校、保護者や地域の皆様に親しまれ誇りに思っただけの学校を目指してまいります。今後とも、皆様のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。申し上げます。

八多町の皆さん、はじめまして

八多出張所 地域活性化担当係長 **河村 太貴**



この4月より、地域活性化担当係長に着任しました河村です。平成5年生まれで、神奈川県、広島県、大阪府と住まいを転々としておりましたが、大学から兵庫県に出てきて、現在は妻と娘2人(5歳・3歳)と芦屋市の沿岸部に暮らしています。

今回の着任を機に八多町を車で回った際には、自然豊かな風景を見て、幼少期に祖母の畑仕事を手伝っていた頃を思い出し、大変懐かしく、そして温かい気持ちになりました。

これまでは介護人材確保といった福祉施策やこどもの居場所づくり・子育て支援拠点の運営支援といった子育て施策などの仕事に従事しており、地域のまちづくりの仕事は初めてです。そのため、まずは皆さまと顔の見える関係を築き、気軽に話しかけてもらえるようになりたいと思っております。

そして、地域が抱える課題について、皆さまと一緒に取り組みながら、八多がもつ魅力をもっともっと多くの方に知ってもらえるよう、努めていきたいと考えておりますので、変わらず親しくしていただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

春の人事異動 (令和8年度)

神戸市役所関連や学校など関係者の異動は以下のとおりです。(敬称略)

◆神戸市役所関係

「北区役所」	総務部地域協働課課長(総務担当)	近藤 仁憲
	総務部地域協働課課長(地域活動支援担当)	伊藤 聡
	総務部地域協働課係長	幸福 新祐
「北神区役所」	市民課長	浅田 亜貴代
	保健福祉課課長(保健担当)	鈴木 雅子
	地域協働課係長	松田 初美
	八多出張所地域活性化担当係長	河村 太貴
	北区社会福祉協議会会長(北神事務所長)	篠原 一
「環境局」	北事業所長	吉村 文秀
「建設局」	北建設事務所副所長	末久 広朗
	同事務所課長(安全推進担当)	菅原 真也
「経済環境局」	北農業振興センター所長	盛田 周吾
「消防局」	北消防所長	田内 健作
「教育委員会」	神戸市立義務教育学校八多学園校長	四方 貴之

3年間、ありがとうございました!

神戸市立義務教育学校八多学園前校長 後藤 慎治



八多学園開校と同時に赴任し、それから3年。本当にあっという間の3年間でした。

初めは、神戸市に前例がない施設一体型の義務教育学校運営、小中校長兼務など、不安もたくさんありました。でも、明るく素直な八多の子どもたち、真摯に子どもに向き合ってくれる教職員、そしていつも学校を支えてくれる保護者や地域の皆様のおかげで、楽しく充実した3年間を過ごすことができました。感謝の気持ちでいっぱいです。

「新しい学校づくりを」という皆様のご期待にどれだけ応えることができたのかは分かりませんが、八多学園の「神戸でオンリーワン」の学校を目指す取り組みは、今後もまだまだ続きます。校長は変わりますが、引き続き皆様のご支援助ご協力を、よろしくお祈いします。私も、八多学園、そして八多町のますますのご発展を、灘区摩耶小学校よりお祈りしています。3年間、本当にありがとうございました。

たくさんの笑顔をありがとうございました!

北神区役所八多出張所 前地域活性化担当係長 三浦 拓馬



美しい里山風景に心躍らせながら八多出張所に赴任した日から、早いもので4年が経ちました。在職中、地域の皆さまと語り合い、ともに活動した日々は、私にとって大変幸せな時間でした。温かい声を掛けてくださったお一人お一人に、心より感謝申し上げます。

赴任当初はコロナ禍の影響で、地域活動の縮小や中止を余儀なくされる苦しい時期でした。しかし、そのような状況下でも笑顔を決やさず活動される皆さんの姿を目の当たりにし、「この灯を途絶えさせてはいけない」と強く胸に刻んだことを覚えています。

八多学園での出前授業や生徒の皆さん・先生方との協働、夏まつり・文化祭のリニューアル、茅葺屋根修繕を契機としたシンポジウム、茅葺caféの継続、八多淡河バスのラッピング企画……。思い出せばきりがありませんが、そこに集う皆さんの笑顔こそが、私を突き動かす原動力であり、皆さんと一緒に流した汗はこの上なく清々しく尊いものでした。地域の「想い」を間近で感じ、それを「繋ぐ」「カタチにする」ために、一人の人間として何ができるかを考え、皆さんとともに走り続けた4年間だったと思います。

名残惜しさは尽きませんが、私の想いは後任の河村係長に託します。また新たな視点で、八多の笑顔の輪をさらに広げてくれるはずですので、引き続きのご協力をお願いいたします。

最後になりますが、控えめに言って……「八多超サイコー!」です!

お世話になりました!

前神戸地域おこし隊 木村 崇志



この度3月末で神戸地域おこし隊を退任することとなりました。もともと退任後は「里山音楽堂」という泊まれる音楽サロンをコンセプトにした地域内外を結ぶ交流施設の立ち上げを目指していましたが、神戸市がどぶろく特区に指定されていること、八多町でも酒米を栽培されている方がいらっしゃることを知り、事業の特色の一つとしてどぶろく作りも取り入れたいと考え、この度酒造メーカーへ転職することを決断しました。思い起こせば1年半前、なんの縁もなく八多町に飛び込んできた私でしたが、とても温かく皆様に迎え入れていただき大変感謝しています。

これまでと関わり方は多少変化しますが、引き続き町内に住み、地域との関係も継続しながら目標に向けて歩みを進めていきたいと考えています。そして、いつの日かどぶろくが完成した暁にはみなさまと一緒に乾杯が出来れば最高です。

これまで大変お世話になりました。そして今後もよろしくお祈いいたします。

中区第14回さくら祭が4月5日(日)11時から中村橋東側八多川堤防付近で開催されました。天候は気まぐれで開花時期を予想するのがなかなか難しく、過去の経験が足りないことも多かったのですが、今年はどうも恵まれお満開でした。好天にも恵まれおぜいの花見客(主催者によると600名は優に超えるでしょう)が500名は優に超えるでしょう)は満開の桜を楽しみ、屋台ではお好みの食事をとる姿が見られました。近隣の鹿の子台や西山からもたくさんの方が来られ、桜を眺めながら住民相互の交流も深まりました。八多町からは「ど〜んと八多を楽しく元気にする会」が射的の店を出して頑張っていました。中区の住民が20年かけて育ててきた桜は見事に咲き誇って八多の桜の名所になりました。長い間のお世話ご苦労様です。今後ともよろしくお祈いします。

中地区さくら祭賑わう!



八多町から2団体が神戸市の「地域貢献賞」を受賞!

3月19日(木)神戸市役所で令和7年度、神戸市の「地域貢献賞」の贈呈式がありました。この賞は地域課題の解決に取り組む市民や団体を称え、感謝状を贈呈する制度です。

八多町から「八多ふれあいのまちづくり協議会」(代表 岡田孝久)と「八多婦人会」(代表 山口明美)の2団体が受賞し、久元喜造神戸市長から感謝状を授与されました。おめでとうございます。今後とも八多町の発展のためにますますのご尽力をお願いします。



地区 吉尾 奥田 楓 出生児 かえで 保護者 竜太・茉弓

◆お誕生おめでとう! (敬称略)

*八多町善意銀行にご芳志をいただいた方々
屏風 上畑 政昭 様(供養として)
屏風 山田 広幸 様(満中陰志として)
中 中地区自治会 様(特別寄付)
八多小学校昭和31年卒同窓会 様(特別寄付)

ありがとうございます!

鷲尾慎一さん(附物)が初優勝! ~第30回町民チャリティゴルフ大会~



第30回町民チャリティゴルフ大会を2月24日(火)ダンロップゴルフ場で開催しました。今年も多数の申込があり、参加者は町内外から132名(八多町からは52名)。2月とは思えないようなポカぽかばか陽気にも恵まれ、日頃の自慢の腕を競うとともに交流を深めました。

主な成績は以下のとおりです。(敬称略)

- 【総合】 優勝 鷲尾 慎一(附物)
- 準優勝 松林 芳宣(屏風)
- 3位 仲 孝弘(中)
- 【女子】 優勝 河野 久美子(吉尾)

※ダブルペリア方式なので実力だけでなく、運も味方につけなければ優勝できません。

鷲尾慎一さんは初優勝で、ベストスコア賞とダブル受賞。

※なお、入賞者への賞品(地域振興券)は各地区長さんを通じてお渡ししました。

【ダンロップ賞】ベストスコア賞(賞品はゴルフボール1ダース)

グロス 84 鷲尾 慎一(附物)

◆なお、会場で「赤い羽根共同募金・ごほんぱくぱく募金」を実施。10,626円が集まりました。北区社協を通じてこどもの居場所(こども食堂等)へ送金しました。ご協力ありがとうございました。



八多町戦没者遺族会が解散!



令和8年3月末で八多町戦没者遺族会が解散しました。「八多町誌」によれば結成は昭和22年4月1日、約80年近く続きました。西南の役から太平洋戦争までの八多町出身戦没者は177柱、多くの町民が犠牲となりました。50周年を機に遺族会が八多町自治協議会から引き継ぎ、毎年春には慰霊祭が行われてきました。しかし、戦後80年がたち、遺族の高齢化が進み、会員も20数名に激減しました。今後は遺族会の関係書類は長命寺(鹿の子台)に預かってもらうことになりました。なお、旌忠碑・殉国碑は附物の極楽寺境内にあり、殉国碑には戦没者全員の名前が記されています。

また、精算金101,811円は八多町自治協議会に寄付されました。

資源回収

(年3回)



新聞・雑誌 ほろ布・ランポール

- 第1回 5月24日(日)
- 第2回 10月11日(日)
- 第3回 2月7日(日)

編集後記

新しい年度を迎え、ますますご清祥のことと思います。さて、ふれあいセンター(この名前はこれからも使用していいそうです)は神戸市から指定管理者の指定を受けて引き続き「八多ふれあいのまちづくり協議会」が運営することになりましたが、正式名は神戸市立八多地域交流センターとなり、条例ができて運営方針が神戸市で統一されました。神戸市会の議決が3月末でしたので利用料金をはじめいろいろな変更点も多くありながらお知らせが遅れたことをお詫び申し上げます。引き続きご協力をお願いします。